

## 5月22日(月)開催の大学コンソーシアムつるの理事会において、今年度の事業計画が決定されました！



写真左から、  
 県立産業技術短期大学校 阿部邦彦校長  
 健康科学大学 荒木力学長  
 都留市 堀内富久市長(会長)  
 都留文科大学 福田誠治学長(副会長)

問合せ先  
 大学コンソーシアムつる事務局  
 市役所 企画課内

大学コンソーシアムつるは、3つの大学・市がそれぞれの特色を活かして、地域連携や大学間連携を積極的に行い、市民と大学、大学と大学が、地域貢献を図っていきます。



昨年度は、都留文科大学のつる子どもまつりに産業技術短期大学校が参加したり、地域自主防災会主催の避難訓練に健康科学大学が参加したり、交流の輪がだんだんと広まっていったよね。10月のつる産業まつりには、市と3大学がブースを出展して盛り上がったね！

わたしの名前を決めるために、たくさんの方から応募をいただいたのもうれしかったなあ～。これからどんなことがあるのか楽しみね！

今年度は、市と3大学がさらに交流を深めるために、「大学コンソーシアムつるスリーキャンパス交流促進プロジェクトチーム」が発足したよ！6月2日(金)に第一回の会議が行われて、企画を進めているみたいだよ！

市・大学・企業の連携を積極的に行っていく上で、それぞれの大学の特色を生かした事業の発展を目指します！  
 詳しくは、大学コンソーシアムつるホームページ(<http://tsurucity.wixsite.com/consortium-tsuru>)を見てね！  
 QRコードはコチラ！→



## ムササビ観察会を実施しました

都留文科大学



■ 次回のムササビ観察会は、秋に開催予定です。

5月19日(金)と5月26日(金)に鹿留宮下の今宮神社においてムササビ観察会を開催しました。滑空する動物は世界的にもとても珍しく、なかでもムササビは最も大きな動物です。COC推進機構 北垣憲仁特任教授からムササビの特徴などを学んだ後、バスで今宮神社へ向かいました。

今宮神社では、フィールド・ノート編集部の学生さんのサポートのもと、両日も滑空するムササビや特徴などを観察することができました。

参加者からは以下のような感想をいただきました。

- ・ムササビがとっても大きいなど感じました。飛ぶ姿が見られて良かったです。いつまでもムササビが飛んでいる場所であってほしいです。(50代・女性)
- ・雨の中、気が進まず孫の付き合いで来ましたが、帰りは楽しい気分です。また秋には三世代(娘も一緒に)で参加したいと思います。(70代・女性)

## 『看護の日』イベント開催

健康科学大学看護学部



5月26日(金)、健康科学大学看護学部において『看護の日(5月12日)』にちなんだイベントを開催しました。当日は地域住民の皆さまや都留興譲館高校の生徒など多数の方が来場され、人形の赤ちゃん抱っこ体験や車椅子に乗る体験などさまざまな授業風景を体感しました。

また、不安やストレスが緩和される学生によるマッサージ(タクティールケア)のコーナー、バザー、前山梨県看護協会長の藤巻秀子氏による講演や学生による救急看護・寸劇発表等多くのイベントを開催しました。

参加者からは以下のような感想をいただきました。

- ・近くに居ても良く知らなかったが、このイベントに参加してこの大学でどういことを学んでいるかが良く分かった。(60代・主婦)
- ・各体験場所で親切に明るく話して下さりとてもわかりやすかった。看護に進みたいという思いが更に強くなった(高校生)。